

清友

No. 84

2016年8月



レンゲショウマの花

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



戦争NO!



原発NO!

9.9学習交流会

参議院選後の日本はどこへ向うのか？平和と民主主義を手放さないために何をすべきなのか？

7月10日に投票された参議院選挙の結果、自公与党は「改選議席の過半数」を上回り、おおさか維新等補完勢力を加えれば、衆参両議会で改憲発議に必要な3分の2議席を超えました。憲法改悪の危機が現実のものとなっています。

しかし、基地や原発被害に苦しむ沖縄と福島では安倍政治は明確に否定され、市民の力により結実した1人区の野党共闘は一定の成果を上げました。また、鹿児島県知事選では脱原発を掲げた三反園氏が現職を破りました。

一方、都知事選では既成政党の枠を外れた小池百合子が圧勝しました。小泉劇場・民主党の政権奪取・アベノミクス戦略と共通する既成勢力が既得権を叩くイメージ選挙による勝利です。

参議院選挙と都知事選の結果をどう見るか、安倍政権は何をしようとしているのか、平和運動サイドの課題は何か、市民としての私たちは何をすべきかなど、平和フォーラム共同代表の藤本さんからお話を伺います。9月9日の学習交流会に是非参加ください。

学習交流会

- 開催日 **9月9日(金)**
13時30分開会
 - 会場 清掃会館地下ホール
 - テーマ 参議院選挙の結果と、平和運動の課題
講師：藤本泰成さん
(平和フォーラム共同代表)
- ※学習会終了後、懇親会

秋をみんなで楽しみませんか

秋の親睦旅行

- ◎テーマ 東洋のグランドキャニオン「大源太キャニオン」と当間高原の旅
- ◎旅行日 11月6日(日)～8日(火)
- ◎宿泊 リゾートホテルベルナティオ
- ◎主な観光先
 - 1日目：大源太キャニオン、三国街道塩沢宿
 - 2日目：長岡市もみじ園、西福寺開山堂
 - 3日目：日本三秘境「秋山郷」
- ◎会費 44,000円(参加者25名基準)

東洋のグランドキャニオン「大源太」と当間高原の旅

11月6日(日)～8日(火)



江戸の昔からワンダーランド・上野公園は秘密がいっぱい

10月6日(木)



秋のフィールドワーク

- テーマ 江戸文化と戊辰戦争戦跡
- 開催日 10月6日(木) 10時
上野公園集合(詳細は後日)
- 企画 上野公園はワンダーランド。ボランティアガイドの案内で、上野公園の江戸文化や戊辰戦争・彰義隊の名残りを訪ねる。

歩こう会・鎌倉ウォーク

9月13日(火)

歩こう会9月のウォーク

- テーマ 初秋の鎌倉周遊
- 開催日 9月13日(火) 10時
鎌倉駅集合
- 企画 隠れた萩の名寺など扇ガ谷の古刹や名井を訪ね、源氏山と銭洗弁天をめぐる小さな旅。静かな穴場ウォーキングです。



都庁退連会第13回親睦交流会

旧足利学校と田中正造の足跡訪問

7月21日に都庁退・親睦交流会が開催され、清掃から庄司会長以下5名参加しました。

最初の訪問先は足利市の「史跡足利学校」と国宝「鏝阿寺(ばんなじ)」。再建された日本最古の学校・足利学校は、室町から戦国時代に関東の最高学府だったことをしのばせ、国宝の本堂等どっしりとした建築物が並ぶ隣の鏝阿寺とあわせて、足利の街の落ち着いた雰囲気象徴していました。

次は館林市の「田中正造記念館」。足尾銅山鉱毒事件と、解決のため闘った田中正造や地域の人々を顕彰する貴重な資料が展示され、詳しく説明していただきました。

恵みの川・渡良瀬川が鉱毒で死の川となり、遊水地建設のため谷中村全村が沈められる等多大な犠牲に対し、国会議員だった田中正造や農民たちが体を張った実力闘争に立

ち上がり、東京大押出し(大行進)や直訴などを行ないました。反公害闘争の原点です。

昼食後、渡良瀬遊水地へ。洪水予防調整池ですが、沈められた谷中村廃村跡でもあります。広大な遊水地はラムサール条約に登録された野鳥の宝庫、大湿原は歩いて歩いてもヨシ原が続いていました。

バス車内で自己紹介と退職者会への意気込みを語り合い、和やかさと一体感が生まれ、最後に久喜市の百観音温泉で汗を流しました。歴史を訪ね先人の闘いや教えに触れた楽しいバスの旅でした。(押田)



田中正造記念館前にて

土砂降りの雨に打たれても 4千人で「安倍退陣」コール



毎月19日の定例行動「戦争法廃止!安倍内閣退陣!国会議員会館前集会」が、7月19日に開催され、土砂降りの雨にも関わらず4千人を超える人が集まりました。

集会に、鳥越俊太郎都知事選野党統一候補が参加し、「東京を非核都市宣言の首都にしたい」と発言して注目を集めました。

参院選の結果、改憲勢力が3分の2を占める事態になりましたが、集会参加者は意気軒昂。土砂降りの雨にも負けず、「安倍即時退陣」のコールを続けました。退職者会には10名参加。自治労や全労協にも注目される勢力になってきました。



東京清掃ボウリング大会

6月25日に、東京ドームボウリング大会が開催され、各地連など17チーム68名が熱戦を繰り広げました。退職者会には戸張さん、柳さん、馬鳥さん、吉田さんが参加。ボウリングはみんな久しぶり、?年ぶりの人もいて、勝負を度外視し楽しみました。

ゲーム終了後、清掃会館地下ホールに移動し表彰式と懇親会。柳さんがブービー賞。狙って取れるものではないかもしれませんが、今年も若い仲間との交流で元気をもらい、楽しい時間を過ごすことができました。

昭和運輸不当解雇撤回闘争5 「不当解雇撤回、3名の職場復帰」 を求め 昭和運輸本社前7・12集会

昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘会議は、「昭和運輸により不当解雇された3名の清掃・非正規労働者の解雇撤回・職場復帰」の要請行動支援のため、7月12日に昭和運輸本社前で集会を行いました。

この集会には、支援共闘構成組織の自治労働本部、東京清掃、公共清掃労組をはじめ、葛飾区職労、全国一般東部労組、水摩葛飾区議、解雇された当該労働者等約70名が参加、各労組代表から「不当解雇された3名の清掃・非正規労働者の解雇撤回・職場復帰にむけて支援共闘とともに闘う」という決意が表明されました。

この中で、東京清掃の坂本副執行委員長は、「清掃事業は住民の生活環境を守る公共サービスだ。その清掃事業に携わっている労働者への違法な不当解雇は、事業者として公共サービスを放棄するものであり断じて許せない。東京

清掃は、同じ清掃労働者である3名の職場復帰に向けて闘う決意だ。」と挨拶しました。支援共闘は、昭和運輸に対して、「不当解雇された3名の清掃・非正規労働者の解雇撤回・職場復帰の要請文」を、当日不在の社長に渡すことを約束させ、3名の職場復帰にむけての不退転の闘う決意を内外に示しました。(宮本)



昭和運輸(後ろの建物)社前で要請行動
(写真は自治労働本部市川氏提供)

20年連続狭山の現地調査



6月26日、清掃労働者の狭山現地調査が、暑さにめげず今年も行なわれました。

53年前の5月、埼玉県狭山市で起きた狭山事件。女子高校生殺人の犯人として被差別

部落出身の石川一雄さんが逮捕され、一審死刑、二審無期懲役の判決を受け、以来無実を叫び続け闘っています。

いまだに「殺人犯」のレッテルは張られたままです。

狭山差別裁判に関わり、東京清掃と清掃・人権交流会が

組織的に狭山現地調査を始めて20年。毎年続けてきました。参加者は清掃・人権交流会の呼びかけで参加した市民を含め27名、退職者会から4名。午前中、部落解放同盟都連松島副委員長から闘いの経過と提起を受け、DVD鑑賞。そして早智子さん一雄さんの順にじっくりお話を伺いました。

早智子さんは、参院選の投票券が一雄さんには来ないことから話し始め、就職差別に会い出身を隠していたが、部落解放闘争に出会い石川さんの獄中からのメッセージに触れて大きく解き放たれたこと、一雄さんは獄中での文字獲得にいかにも刑務官が協力してくれたか、刑務官家族の献身的な援助や今も続く支援の姿を感謝を込めて話されました。

27名の参加者は、ウソの「清白」に沿った現地調査で警察・検察のでっち上げをしっかりと体感し、事実調査こそ第三次再審のカギだと確信しました。

部落差別を許さず、冤罪狭山事件の全面解決を目指して、これからもがんばり続けたいと思います。(押田)